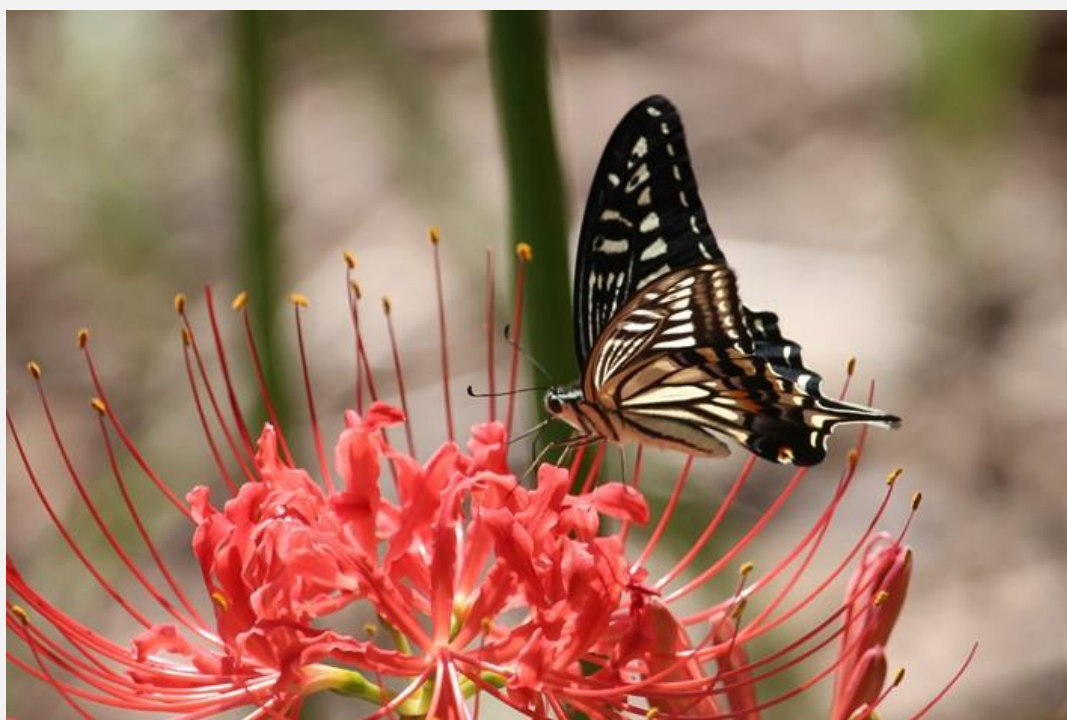


# 「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ9号

2017年11月



アゲハとヒガンバナ

## 目次

1. 11月活動について . . . . . 2
2. ムシプロだより . . . . . 3
3. 自然の楽しみ方（秋） . . . . . 4
4. 事務局より . . . . . 5
- 今月の表紙 . . . . . 5

## 1. 11月25日（土）の活動について

11月25日（土）の活動の概要です。

### ① 作業の内容

コナラ広場で落ち葉を集めて腐葉土をつくります。また、9月の活動で菜の花の種をまきましたが、芽が出て混み合っているので間引きします。

#### ■ 落ち葉さらいと腐葉土づくり

校舎の裏山を登ってコナラ広場に行きます。コナラ広場で落ち葉を集めます。集めた落ち葉を袋に詰めてくまの木まで持ち帰ります。山道の上り、下りは、程よく汗をかき運動不足解消になります。



#### ■ エコストーブで昼食づくり

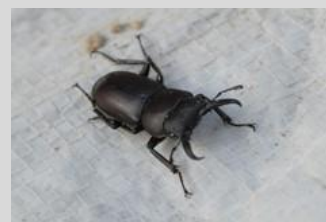
コナラ広場で昼食をとります。昼食は、エコストーブを使って作ります。メニューは、カレーを予定しています。コナラ広場で採れるキノコ（ヒラタケ）を料理するのも面白いですね！

完全燃焼すること、炎が断熱材に覆われた煙突の中を流れることなどから熱効率がよく、直径3cm程の枝や割った木材5~6本で4~5合のご飯が20分ほどで炊き上がります。



#### ■ 冬の生き物観察

コナラ広場で、朽木や倒木の中で冬を越している生き物を観察します。朽木を割って生き物を探します。何が出てくるか？とても楽しみです。クワガタ、カミキリムシ、スズメバチが期待できます。



## 2. ムシプロだより

### 坂口 陽子さん、徹さんの近況

ムシプロに参加して5年目となりました。そもそも私と栃木との出会いは学生時代に遡ります。ゴルフ部でしたので、矢板・喜連川には年数回合宿で訪れていました。そこから時を経て20年後、まさか息子と共に通うことになるとは当時夢にも思いませんでした。



芋虫毛虫は今でも苦手ですし、鳥のさえずりもあまり耳に入ってきません。桜と梅を間違えたりします。こんな無粋な人間ですが、息子と参加するムシプロは今の私たちにとって楽しみのひとつであり、かけがえのない存在です。これはスタッフの皆様のお陰ですね。ありがとうございます。

さて、ここからは我が家が旅先で出会った甲虫たちの紹介をします。シーツの上にかくさんいるのは2015年北海道留寿都村で会ったミヤマクワガタです。宿泊先駐車場の灯りの下にたくさん集まっていますが、なぜかメスばかりでした。同年、私の兄が住むジャカルタにて、昆虫採取ツアーに参加しました。向かった先、ジャカルタから南へ60キロの山地「ボホール」は大物昆虫の宝庫。採取したコーカサスオオカブト等は日本にこっそり持ち帰り、最後は標本にしました。2016年石垣島で出会ったのはサキシマヒラタクワガタです。夜の山中にて、徹の目の前に偶然舞い降りてきてくれました。今夏は北海道ニセコにてミヤマに再会。街中の古いゴルフ練習場の灯りの下にいました。ニセコは世界屈指のスキーリゾート地でかなり開発が進んでいるせいか、探すのに苦労しました。果たして、息子は来年も「クワガタ捕りに行きたい」と言ってくれるのでしょうか。

(写真・文 坂口陽子・徹)



ミヤマクワガタ



コーカサスオオカブト



サキシマヒラタクワガタ

### 3. 自然の楽しみ方（秋）

#### ● 最強のハンター スズメバチ（キイロスズメバチ対ジョロウグモ）

秋は、冬に備えて生き物の活動が活発になる季節だ。

秋が深まるにつれ食べ物が少なくなるとスズメバチは、行動が荒々しくなり他の生き物を積極的に襲う「最強のハンター」に変身する。

ミツバチやアシナガバチの巣を襲うことはよく知られている。人間が、スズメバチに刺された（襲われた）という報道が多くなる時期と重なる。

スズメバチの狩りの様子を長年見てきているが、クモの巣を襲うのを見たときはさすがに驚いた。

- ①スズメバチ（キイロスズメバチ）がジョロウグモの巣の前で様子を窺うように空中で静止していた。
- ②スズメバチは、ジョロウグモの巣にかかっていた獲物（クモの糸でぐるぐる巻きにされている）に飛びついた。この時、ジョロウグモは、抵抗することなく巣から脱出してしまった。
- ③スズメバチは、クモの糸でぐるぐる巻きにされた獲物をクモの巣から丁寧に切り取り飛び去った。まるでクモを専門に狩るベッコウバチを思わせる手際の良さであった。

一步間違えれば、自分がクモの巣にかかりクモの餌食になってしまうのに、この危険を顧みず果敢にクモの巣に挑む姿に驚きと感動を覚えた。

今回の例だけでなく花の上でホバリングしながら花を訪れるムシを襲うなどスズメバチの他の生き物を襲う行動は、とても興味深いものがあるので、反射的に逃げ出さないで行動をじっくりと観察してほしい。



キイロスズメバチ



ジョロウグモ



クモの巣を襲うキイロスズメバチ

ジョロウグモは、既に巣から脱出している



獲物をクモの巣から切り取る

(写真・文 西野 孝法)



#### 4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2017年11月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：[harukan@ac.auone-net.jp](mailto:harukan@ac.auone-net.jp)

今月の表紙 アゲハとヒガンバナ



ヒガンバナの鮮やかな赤にアゲハの白い翅が映えてとても美しく撮れた。

ヒガンバナを訪れるアゲハの写真は、秋の定番中の定番だ。この光景を見ないと秋という感じがしない。ヒガンバナには、アゲハの仲間各種（クロアゲハ、キアゲハなど）が訪れるが、このアゲハ（ナミアゲハ）との組み合わせが一番好きだ。

ヒガンバナは、曼珠沙華（マンジュシャゲ又はマンジュシャカ）と呼ばれている。

曼珠沙華の花の鮮やかな赤が情熱の象徴として捉えられ、曼珠沙華は、山口百恵のアルバム（1978年発売）のタイトルにもなっている。また同名の歌も収録されている。アルバムのカバー写真がとても刺激的であった。この原稿を書きながら久々に見たらドキドキしてしまった（汗）。アゲハは、曼珠沙華の赤に魅かれ、人間は、曼珠沙華のカバー写真に魅かれる。（写真・文 西野 孝法）

